

骨密度検査について

人生 100 年時代といわれている世の中ですが、加齢とともに心配になってくるものの一つに骨粗しょう症があります。

今回は、その骨粗しょう症の検査である骨密度検査について少しご紹介します。

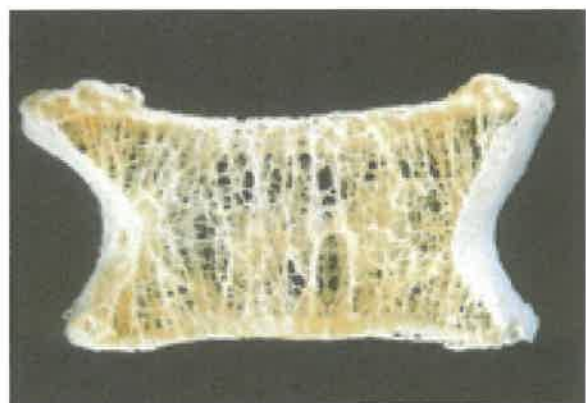


【骨粗しょう症とは？】

骨の強度が低下して、骨折しやすくなってしま病気です。骨がもろくなってしまうとつまずいて手や肘をつく、あるいは尻もちをつくなどの衝撃で骨折してしまうリスクが高まります。



健康な人の骨



骨粗しょう症患者さんの骨

骨折しやすい部位としては、背骨や足の付け根、手首、腕の付け根があります。

骨粗しょう症は痛みなどの自覚症状がないことが多く、定期的に骨密度検査を受けるなどの日ごろからのチェックが必要です。

【骨密度検査機器】

当院の骨密度検査の装置をご紹介します。

骨密度測定装置 Horizon
HOLOGIC 社製(アメリカ) (右図)

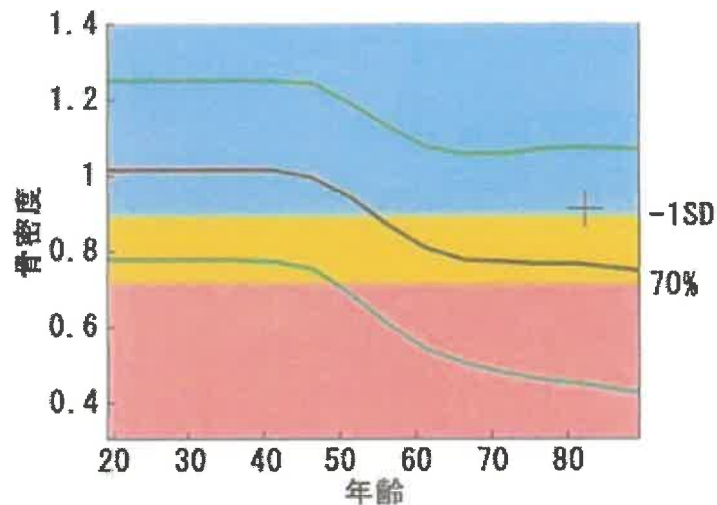
こちらの装置は、DEXA(デキサ)法という方法で測定しています。

DEXA法とは、2種類の異なるエネルギーのX線を使用して測定を行う方法です。

当院では、腰の骨(腰椎)と足の付け根(大腿骨頸部)の2カ所の部位で測定を行っています。



【骨密度検査結果の見方】



検査終了後、測定結果の紙をお渡ししますが、そこに記載されている測定値の表が上図になります。

青と黄色と赤のゾーンに分かれており、図の+のしるしが測定値になりますので、測定値がどのゾーンに入っているかを見ていきます。

- 青 . . . 心配ない区域
- 黄 . . . 少し気をつけた方がいい区域
- 赤 . . . 骨密度が少なく注意が必要な区域

【おわりに】

骨粗しょう症は骨折のリスクが高くなり、健康寿命にも大きくかかわってきます。自分の骨密度の状態を知るためにも一度、骨密度検査を検討してみたいはいかがでしょうか。